

## [017]九州大学産学連携センター年報 : 17

<https://doi.org/10.15017/20272>

---

出版情報 : 九州大学産学連携センター年報. 17, 2011-10-01. 九州大学産学連携センター  
バージョン :  
権利関係 :



## 2. リエゾン部門、デザイン総合部門及びプロジェクト部門の協同事業

### 2.1 協同事業の目標

KASTEC は平成 6 年度の設立以来、「産学官交流による地域社会等への貢献」を目指し、次の 3 項目に係る産学官交流活動を展開しています。

- 1) 民間企業等との共同研究・受託研究等の推進
- 2) 産学官交流の場の提供と技術シーズの発掘
- 3) 産業ニーズの発掘と産学官連携共同研究プロジェクトのコーディネート等の推進

### 2.2 民間企業等との共同研究・受託研究等の推進

平成22年度は九州大学において659件の共同研究（その一覧を資料附録5に掲載します）、525件の受託研究が実施されました。共同研究のうち18件が KASTEC レンタルラボにおいて実施されました（その概要を下表に掲載します）。

なお研究協力制度の詳細については、九州大学 HP より「社会との連携」

<http://www.kyushu-u.ac.jp/society/index.html> をご参照ください。

KASTEC レンタルラボにおいて平成22年度実施された共同研究

| 区分               | 使用実験室   | 使用責任者   | 所属・職     | 利 用 目 的                              |
|------------------|---------|---------|----------|--------------------------------------|
| 公<br>募           | 実験室 2 後 | 笹 田 一 郎 | 総院・教授    | 分離型磁気シールドの開発とその生体磁気計測システムへの応用        |
|                  | 実験室 3 後 | 笹 田 一 郎 | 総院・教授    | 磁気ブリッジを利用した電流センサの開発                  |
|                  | FS301B  | 佐々木 一 成 | 工学研究院・教授 | 燃料電池自動車向け水素燃料適正診断センサーの研究             |
|                  | FS302A  | 古 川 勝 彦 | 産学セ・教授   | 新規 IC カードシステム構築に関する調査研究              |
|                  |         | 古 川 勝 彦 | 産学セ・教授   | 企業との効率的な産学連携手法の研究                    |
|                  | FS302B  | 服 部 励 治 | 産学セ・教授   | 有機発光デバイスに関する研究                       |
|                  | FS303   | 間 瀬 淳   | 産学セ・特任教授 | 先端マイクロ波・ミリ波デバイスおよびシステムの開発            |
|                  | FS304   | 中 島 寛   | 産学セ・教授   | カーエレクトロニクス用高機能 Si デバイス創成のための基盤技術研究開発 |
|                  | FS402   | 古 川 勝 彦 | 産学セ・教授   | 次世代ワイヤーハーネスの研究開発                     |
|                  | FS403   | 古 川 勝 彦 | 産学セ・教授   | 特許調査分析システム開発                         |
|                  | FS404   | 大 屋 裕 二 | 応力研・教授   | 小型高性能風車の研究                           |
|                  | FS504   | 三 浦 則 雄 | 産学セ・教授   | ケミカルセンシングデバイスの応用研究                   |
|                  | FS603   | 中 島 英 治 | 総院・教授    | 耐熱構造材料の高温変形挙動と内部組織変化の相関              |
|                  | FS604   | 間 瀬 淳   | 産学セ・特任教授 | 先進マイクロ波生体検知システムの開発                   |
| 研<br>究<br>戦<br>略 | FS301-A | 大 賀 祥 治 | 農院・教授    | 薬効キノコ類の機能性に関する研究開発                   |
|                  | FS401   | 古 川 勝 彦 | 産学セ・教授   | 次世代ワイヤーハーネスの研究開発                     |
|                  | FS503   | 三 浦 則 雄 | 産学セ・教授   | 圧力スイング吸着法用高性能酸素吸着剤の研究                |
|                  | FS601   | 間 瀬 淳   | 産学セ・特任教授 | マイクロ波生体検知システムの開発と応用                  |

## 2.3 産学官交流の場の提供と技術シーズの発掘

### (a) KASTEC セミナー

客員教授等を講師として招き、大学院生、学内教員及び地場の民間企業の研究者を対象とする KASTEC セミナーを、平成22年度は8回実施しました。

#### 平成22年度 KASTEC セミナー開催一覧

[客]：産学連携センター客員教授

| 回   | 日 時・場 所                                                                | 講 師                                                                                                             | テ ー マ                                                                         | 聴講者数 |
|-----|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------|
| 142 | 22. 7. 2(金)<br>16:40～18:10<br>大橋キャンパス芸術工学部<br>5号館1階512教室               | 船場ひさお 氏<br>[客] 音環境デザインコーディネーター/<br>横浜国立大学 VBL 講師                                                                | 「生活空間の音環境をデザインする」                                                             | 40   |
| 143 | 22. 7. 20(火)<br>14:50～18:00<br>KASTEC 3階研修室                            | 占部 哲夫 氏<br>[客] ソニー(株)コアデバイス開<br>発本部 副本部長                                                                        | 「企業における技術開発の実態：<br>有機 EL テレビ開発を例に」                                            | 60   |
| 144 | 22. 11. 12(金)<br>15:00～16:30<br>大橋キャンパス産学連携<br>センターデザイン総合部門<br>3階セミナー室 | 妹尾 孝憲 氏<br>[客] (独)情報通信研究機構<br>ユニバーサルメディア研<br>究センター専攻研究員                                                         | 「立体映像の最新技術と今後の動向」                                                             | 15   |
| 145 | 22. 12. 3(金)<br>15:00～19:15<br>KASTEC 3階研修室                            | 内山 政弘 氏<br>[客] (独)国立環境研究所 主任研究員<br>泉 順 氏<br>[客] 吸着技術工業(株)代表取締役社長                                                | 「準実スケールの人工雲を利用<br>した立坑実験」<br>「バイオガスからの吸着法によるメタン<br>の分離・精製・貯蔵・輸送」              | 35   |
| 146 | 22. 12. 16(木)<br>14:00～16:40<br>KASTEC 3階研修室                           | テーマ 「光機能材料の最先端 = III族窒化物半導体とグラフェン」                                                                              |                                                                               | 34   |
|     |                                                                        | 田中 悟 氏<br>九州大学大学院工学研究院 教授                                                                                       | 「グラフェンの作製法と基礎物性」                                                              |      |
|     |                                                                        | 只友 一行 氏<br>山口大学大学院工学研究科 教授<br>富谷 茂隆 氏<br>[客] ソニー(株)先端マテリアル研究所<br>統括課長 主任研究員                                     | 「サファイア加工基板上非極性面 GaN の側壁選択成長」<br>「透過電子顕微鏡法および3次元アトム<br>プローブ法による GaN 系半導体材料の解析」 |      |
| 147 | 23. 1. 14(金)<br>14:00～15:30<br>KASTEC 3階研修室                            | 金山 敏彦 氏<br>[客] (独)産業技術総合研究所・<br>ナノ電子デバイス研究センター<br>センター長                                                         | 「ナノエレクトロニクスを拓く<br>原子レベル材料技術・計測技術」                                             | 35   |
| 148 | 23. 1. 31(月)<br>13:30～16:30<br>大橋キャンパス芸術工学部<br>5号館1階511教室              | 秋重 邦和 氏<br>[客] 大日本印刷(株)常務取締役<br>北島 元治 氏<br>大日本印刷(株)常務取締役<br>福田祐一郎 氏<br>大日本印刷(株)情報コミュ<br>ニケーション研究開発セ<br>ンターセンター長 | 「電子書籍の出現と出版の未来」<br>第1部 電子書籍市場の新たな<br>幕開け<br>第2部 電子書籍の未来を拓く<br>P&I 技術          | 50   |
| 149 | 23. 2. 7(月)<br>14:00～16:00<br>KASTEC 3階研修室                             | 池地 弘行 氏<br>[客]                                                                                                  | 「フーリエ交換によるイメージング」                                                             | 20   |

## (b) ホームページ

KASTEC のホームページ上で、KASTEC の業務や行事予定、各部門の研究・実務等の詳細情報をご覧ください。

KASTEC ホームページアドレス <http://www.astec.kyushu-u.ac.jp>

## 2.4 三部門の協同事業の現状と今後の課題

平成22年度の協同事業活動を概括すると以下の通りです。講演会などの活動として、KASTEC セミナー 8 回開催され、民間企業などから多数の経営者、研究者、技術者などの参加があり、技術相談や情報交換などが活発に行われました。広報活動としては年報を発行したほか、学協会や産業界への有用な情報源とするためホームページを随時リニューアルしました。

本学では、平成22年度に659件の共同研究が実施されました。下記表は共同研究・受託研究件数の年度別推移ですが、件数が順調に増加していることが分かります。上記の産学官交流活動が起点となり、民間企業等との具体的な共同研究・受託研究につながっていると考えられます。

共同研究・受託研究件数の推移

| 年度（平成） |           | 10       | 11       | 12        | 13        | 14        | 15  | 16  | 17  | 18  | 19  | 20  | 21  | 22         |
|--------|-----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|
| 共同研究件数 | 九大<br>芸工大 | 92<br>13 | 90<br>16 | 100<br>15 | 128<br>17 | 179<br>27 | 243 | 329 | 439 | 567 | 579 | 611 | 612 | <b>659</b> |
| 受託研究件数 | 九大<br>芸工大 | 247<br>4 | 266<br>4 | 273<br>6  | 197<br>9  | 300<br>8  | 337 | 403 | 445 | 515 | 560 | 575 | 554 | <b>525</b> |

現在 KASTEC では、これまで行ってきた産学官交流活動をより効果的に産学の共同研究等に結びつけるため、それらのあり方、実施形態等の検討を進めています。本センターの産学官交流活動に引き続きご支援賜りますようお願いいたします。